

健都共創フォーラム 「オーラルヘルス研究会」

前半



大阪大学大学院 歯学研究科

イノベーティブ・デンティストリー推進センター センター長・教授

大学発ベンチャー 株式会社アイキャット

代表取締役CTO
(兼業申請)

そ ごう
十河 基文



オーラルフレイル、実は**全ての年齢層**？

小学生まで

成人女性

高齢者



読売新聞 オンライン

「お口ぼかん」全国調査で子どもの3割、想定外の結果に...成長期には難しい自然治癒

2021/04/08 14:13

この記事をストックする

いつも口をぼかんと開けている状態が特徴的な子どもの口唇閉鎖不全（お口ぼかん）について、岐阜県大垣市の大垣女子短大などの研究グループが全国調査を行い、有病率が30・7%にも上ったと発表した。調査では、お口ぼかんの子には「鼻がつまる」や「クチャクチャ音を立てて食べる」などの傾向があることが裏付けられたという。



口唇閉鎖不全を抱える子ども（岐阜県研究所）

発表によると、お口ぼかんは、鼻の具合が悪かったり、唇の筋肉が弱かったりや推数の要因が絡んで起きるとされる。悪い歯並びや出っ歯になるなど、口の健康な発達に深刻な悪影響を及ぼす恐れがある。

だが、国内ではこれまで大規模な実態調査が行われたことはなく、岡短大や新潟大などの研究グループは、（1）有病率に年齢差や地域差があるか（2）どのような要因があるのか——を調べることにした。

調査は2014年、全国66の小児歯科医院を受診する3～12歳の3399人を対象に実施。保護者に

東洋経済

9月12日（月） 週刊東洋経済プラス | 四季報オンライン | シネホー

トップ 新型コロナ ナビゲーション

ライフ・健康

マスク下で進む「顔面のたるみ」に対抗するコツ
誰でもできる1分の「顔面整頓」でたるみを解消

次ページ

2020/12/27 16:00

マスクの下で起こっている意外なことは？（写真：USJIE/PDXTA）



マスクの下で起こっている意外なことは？（写真：USJIE/PDXTA）

口の機能低下オーラルフレイル 50代から顔の筋トレ

滑舌・食べこぼし...高齢者ご注意 「歯科で定期チェックを」

2017/1/2 介護に備える

Facebook Twitter Print Email



滑舌の自しあしを測定する（千葉県柏市）

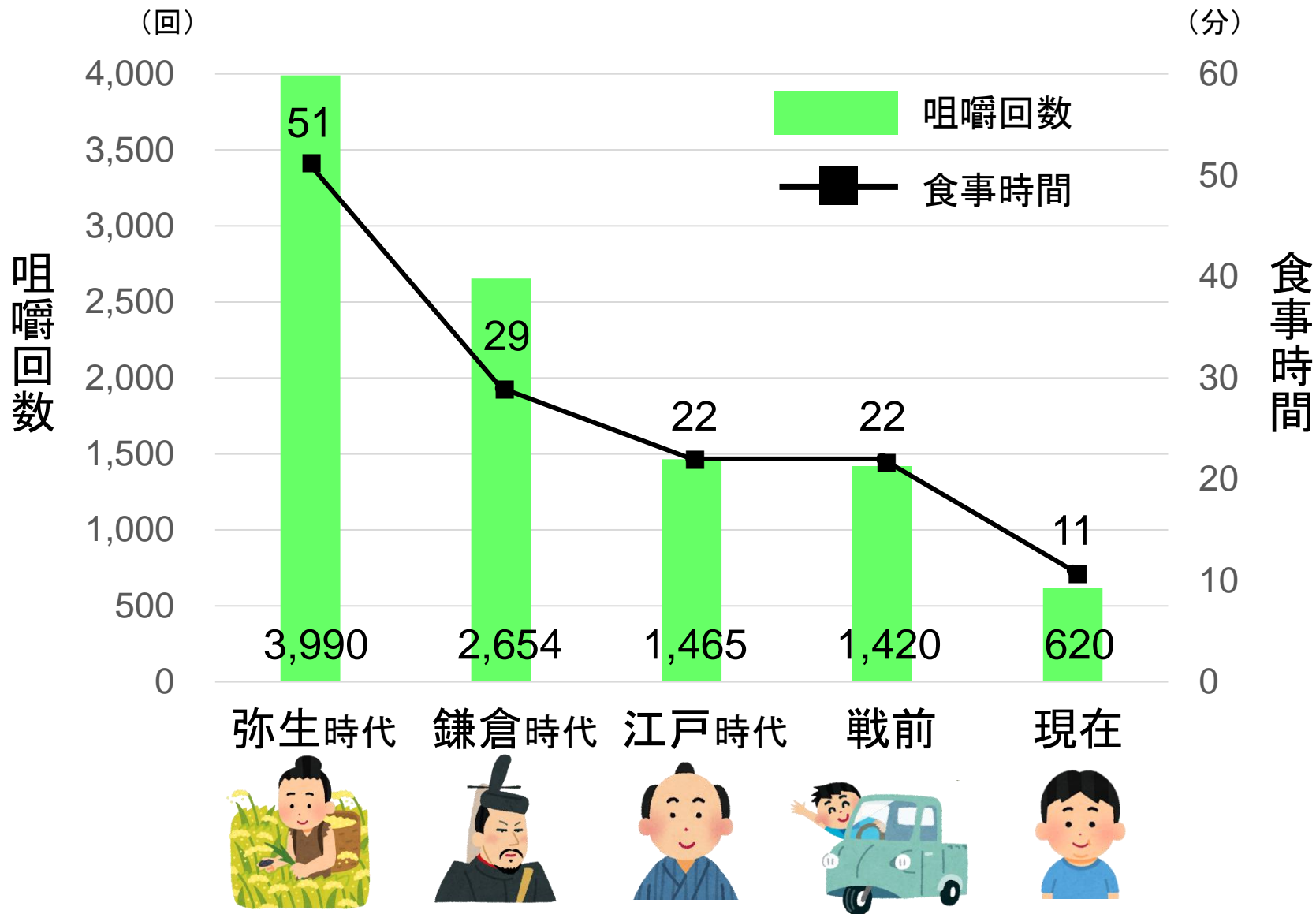
口の中（オーラル）の機能が低下することで体の衰え（フレイル）につながっていく「オーラルフレイル」。滑舌が悪くなる、食べこぼしや飲み物でむせるといった口回りのトラブルは、高齢者の体が弱っていく最も早いサインだ。健康に重大な影響を及ぼすとは考えず、加齢に伴う衰えのひとつと見過ごす高齢者もいる。本人や周囲がフレイルの兆しに気づき、早い段階で対応することが大切だ。

高齢化社会世界1位の日本なので急務は

「**高齢者**ならびに**その前の年齢層**」

現代人は「噛んでいない」ので衰えも早い？

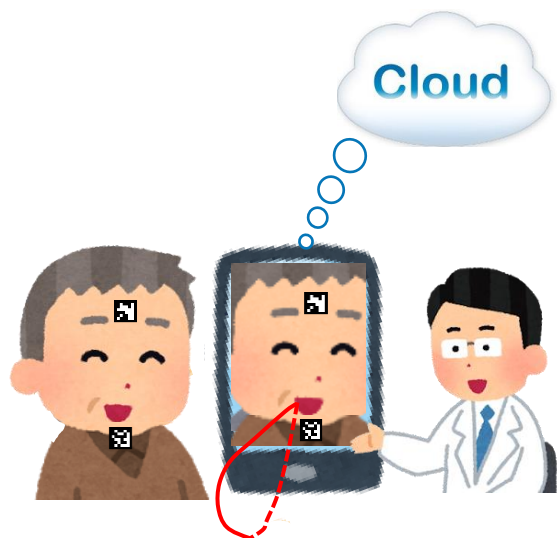
齋藤 滋教授(神奈川歯科大学)による実験
復元食を女子学生が食べる



医療機器

現在、
研究開発中

(国に許可をもらう必要あり)



民生品



実証

